

掛け声響く



もちつき大会



1月17日(土)にこべわキッズ広場事業⑦「新春もちつき大会」を行いました。
恒例事業ともあり、多くの子ども達や保護者の方の参加をいただき、大変盛り上がりしました。今回は白もちと草もちを杵と臼でつき、きな粉もちと納豆もちの他に雑煮もちにしておいしく食べました。
もちをつく度に「よいしよー」と掛け声を響かせ、力いっぱい杵を振り下ろしている子ども達の姿はとてもかっこよかったです。



防災通信⑤

3・11 防災を考え、話し合う機会に

○ 東日本大震災から15年

東日本大震災から15年になります。

日本周辺における観測史上最大の地震である《東北地方太平洋沖地震(東日本大震災を引き起こした地震)》は、東北地方の太平洋沿岸地域をはじめ多くの地域に甚大な被害をもたらしました。白鷹町でも震度5弱を観測し、大きな被害はなかったものの、停電等により一時不便な生活を強いられました。この震災を機に家庭での食料や燃料、日用品等の備蓄など災害対策をされた方も多いと思います。地震に限らず、毎年、日本のどこかで大きな災害が起っています。行政機関も過去の災害を教訓に治山治水など防災対策を行っていますが、それでも災害が起らなかった年はありません。災害は、激甚化・頻発化しています。

○ 家庭環境や状況の変化に応じた災害対策を

この15年で、子どもの成長や家族構成の変化、引っ越しやオール電化・高断熱高気密の家にしたりとライフスタイルが大きく変わった方もいると思います。このような家庭環境の変化に応じた災害対策が重要です。(例…高気密住宅で石油ストーブの使用は注意が必要です)

自分と家族を災害から守るためには、「どんな災害が起こるのか・その災害がもたらす被害(影響)」を考え、現在の家庭環境に合った災害対策を実施する必要があります。

○ 3月11日は『県民防災デー(防災点検の日)』

山形県では、3月11日を『県民防災デー(防災点検の日)』と定めています。

“大きな教訓を与えた東日本大震災を風化させることなく防災意識を高め、この機会を活用して、災害に備え、いざというときの行動や対応等の点検を行いましょ”
とされています。詳しくは山形県HP《こちら防災やまがた!》を「確認ください」

災害派遣で被災地に行くと、現地の住民や行政機関の職員など多くの方々から「まさか、(こう)こんなことが「長年住んでいるが人生ではじめて」という言葉を耳にします。

ぜひ皆さんもこの機会に、いつ・どこで起(こ)っても不思議ではない災害に備えるために、自分や家族、地域の現状に応じた防災について考え、話し合ってみましょ。

3月13日まで中央公民館町民ラウンジにおいて、『東日本大震災パネル展示』を行っていますので、ぜひ「ご覧ください」。

(地域防災マネージャー

橋本 和彦)



山形県HP
《こちら防災やまがた!》
県民防災デー



サロン通信②

「横越ふれあいサロン」の紹介

横越ふれあいサロンは、10、11町内にお住まいの方を対象に高齢者の交流ふれあいの場として平成22年に発足しました。現在、利用者14名、ボランティア12名で活動しています。

活動は月1回で、お盆の8月と厳冬の1月、2月はお休みしています。主な内容は健康教室や軽スポーツ、お楽しみ会、小旅行、お食事会等を行っています。中でも「新そばを食べる会」は特に好評で、利用者の「そば打ち名人」に新そばを打っていただき、参加者皆さんで舌鼓を打ちます。また、福祉バスをお借りした小旅行では、県内の観光地や施設を訪れて買い物などを楽しんでいます。今年は山形県庁と洋菓子のシベール工場を訪問し、そのあとは県物産館「べつと山形」で買い物を楽しんできました。

65歳以上の方であればごなたでも気軽に参加でき、都合でのお休みも自由ですので、多くの皆さんの参加をお待ちしております。

○お問い合わせ先

菅野 純子 ☎095-488888
新野 康子 ☎095-00133



↓新そばを食べる会の様子



募集とお知らせ

お申込み・お問い合わせ 蚕桑コミュニティセンター ☎ 85-2153

令和7年度 研修会のご案内

令和7年度研修会を左記の内容で開催いたします。

○日時 3月8日(日) 午前10時～正午

(受付 午前9時30分～)

○会場 蚕桑「ミセン」さくらホール

○内容 報告(集落点検)

テーマ「地域づくりアンケートと人口動態」

(担当…集落支援員 梅津 秀明)

講演会

テーマ「あゆーむまみれ」企画と人脈と」

講師 白鷹町文化交流センター「あゆーむ」

館長 橋本 淳一氏

○講師紹介

白鷹町文化交流センター「あゆーむ」

館長 橋本 淳一氏

あゆーむまみれ

企画と人脈と

《略歴》

- ・白鷹町出身
- ・早稲田大学卒業後、紀伊国屋書店出版部や世界文化社にて編集、営業に従事
- ・東京工芸大学で学生の就職指導を務める
- ・両親の介護の為、白鷹町に帰郷
- ・平成23年に白鷹町文化交流センターの館長に就任し、現在に至る



←参加申し込み
QRコード

○締切り

3月5日(木)

蚕桑の方全員を対象とした研修会となります。
ぜひ蚕桑「ミセン」までお申し込みください。
※左のQRコードからもお申込み可能です。



使用済みカイロの回収

使用済みカイロの回収を行っています。

◎対象 貼るカイロ、貼らないカイロ

※使用期限切れカイロでも回収します。

◎場所 蚕桑「ミセン」玄関

(設置している回収箱「いっぺんだん」)



一般教室

随時、受講生募集中

① 美文字教室

◎日時 2月19日(木)

3月5日(木)・19日(木)

午後1時30分～

◎定員 14名

② 絵画教室

◎日時 隔週木曜日 午後7時～

◎参加費 1回 500円



これからの予定

2月10日(火)～3月16日(月)

青パト協力者へ謝礼品お渡し期間

- 2月14日(土) こぐわキッズ広場事業⑧
- 2月17日(火) みそ作り教室 地域振興部会
- 2月19日(木) 美文字教室
- 2月26日(木) 絵画教室
- 3月5日(木) 美文字教室
- 3月8日(日) 研修会
- 3月10日(火) むつみ学級 閉級式
- 3月18日(水) 蚕桑小 卒業証書授与式
- 3月19日(木) 美文字教室

※毎週(木) 青色パト車運行

新春のびん

1月10日(土)に蚕桑「ミセン」にて蚕桑地区新春のびんを開催しました。

地区内の組織代表や施設・地元企業代表など総勢93名と多くの方に臨席いただきました。来賓の方々からの祝辞に続き、第一部は白鷹町出身のソプラノ歌手・菅原和奏さんによる新春のしらべ。豊かな声量で奏でられるオペラの旋律に会場全体は圧倒されました。第一部の祝宴では、近況報告はもちろんのこと、新年の抱負やこれからの蚕桑地区についての話題等といった新春にふさわしい活発な懇談の場となりました。



むつみ・般学級合同事業

うたごえ喫茶

1月26日(月)に音楽療法士の柴田みゆきさんを講師に迎え、うたごえ喫茶を開催しました。

懐かしい歌をうたいながら、リズムゲームのように手拍子をしたり、手足を使った脳トレをしたり、皆さん楽しんでいました。時折、笑顔もあり、来年度もまたしてほしいなどの声もいただき、大変嬉しく思います。



「ミセン通信」⑦

お問い合わせ
蚕桑「ミセン」
080-6-1553

① 各受講生、参加者を募集中！

蚕桑「ミセン」では定期的に「絵画教室」「美文字教室」を開催しています。また「むつみ学級」では年間を通してさまざまなことを楽しんで活動をしています。家庭や職場以外での「自分の時間」を楽しむ場として、ぜひ参加してみませんか？

② 青ハト協力者へ謝礼品のお渡しのご案内

毎週木曜日の青ハトにご協力いただきありがとうございます。ご協力いただいた皆さんへ「ミセン」より謝礼品をお渡ししたいと思います。

お渡し期間：2月10日(火)～3月16日(月)まで

右の期間中までに「ミセン」へ来ていただき、謝礼品を受け取ってください。令和8年度も青ハトへの協力のおかげにより、ありがとうございます。

③ 忘れ物について

蚕桑「ミセン」で保管している忘れ物ですが、左の期間までに引き取りがない場合は処分します。

保管期間：3月25日(水)まで

↓忘れ物の一部(他上着など多数)



「ぐわキッズ広場」

サポーター募集のご案内

「ぐわキッズ広場」とは...

子ども達と様々な体験を通じて、地域に根ざした活動を行っています。

活動内容：農業体験、料理教室、町探検など

「ぐわキッズ広場」では子ども達と一緒に活動していただけの方(サポーター)を募集中です。

「ぐわ」協力いただける方は、蚕桑「ミセン」(梅津)までご連絡ください。

◎お問い合わせ：蚕桑「ミセン」 080-6-2153

更生保護女性会

会員募集のご案内



合言葉は「無理せず、自分のできる範囲で」

◎更生保護女性会とは...

次代を担う子ども達の健やかな成長と明るい将来を願う、自主的ボランティア団体です。

◎活動内容

- ・小中学校でのあいさつ運動
- ・保護司と一緒に社会を明るくする運動
- ・研修会 など

◎更生保護女性会では無理せず、できる範囲で一緒に活動してくれる方を募集しています。
男性は賛助会員としての入会になります。

●会費 2000円(賛助会員は10000円)

◎お問い合わせ：更生保護女性会事務局

(町民課へら環境係) 080-6-131

白鷹町役場 税務課出納課

申告相談のご案内

詳細は「町報1月号を」
「ご覧下さい。」

◎蚕桑地区の日程：2月24日(火)～27日(金)

24日(火)	午前 蚕桑1・2	午後 蚕桑3・8・10
25日(水)	午前 蚕桑6・7	午後 蚕桑4・5・15
26日(木)	午前 蚕桑12・13	午後 蚕桑11・14・16
27日(金)	午前 蚕桑9・17・18	午後 蚕桑19・20

◎時間：開館 午前8時30分

《午前の部》受付 午前8時45分～11時
相談 午前9時 開始

《午後の部》受付 午後11時45分～午後3時
相談 午後1時 開始

◎場所：蚕桑地区「ミセン」センター

◎お問い合わせ：税務課出納課町民税係 080-6-132

地域で輝く企業びと ～農業組合法人アグリサービスこぐわ～



↑説明をされる相模さん

地域振興部会では、地元の企業や経営団体を知ってもらうために情報発信を行っています。今年度は、日本各地で発生した「令和の米騒動」が大変関心が高いため、蚕桑地区の農業法人「アグリサービスこぐわ」の相模さん、小林さんにお話を伺いました。以下はその時の質問をまとめたものです。



↑アグリの事務所で説明を聞く

Q1.起業した経緯を教えてください

平成13年から西田尻転作大豆組合で大豆の生産を行っていましたが、将来的に個人で事業を行うには様々な問題があると思い平成16年に6人で法人を設立したことが始まりです。初めは大豆のみでしたが、そば、枝豆、ユーカリと広げ、平成27年から個人で行っていた米の生産も法人で行うようになりました。

Q2.従業員の人数と各々の仕事内容について

現在8名で米や大豆などの栽培から収穫まで担当や管理区域を決めて行っています。繁忙期は地域の方を頼んで対応していますが、今は65才でも会社勤めをしている方が多いので、人集めで苦労しています。

Q3.作付けしている作物の種類と割合について

米 53.7ha（はえぬき 34.7ha、つや姫 12.8ha、コシヒカリ 0.6ha、雪若丸 5.6ha）

大豆 17.8ha（秘伝大豆 8.9ha、里のほほえみ 8.9ha）、枝豆 5.6ha（6品種）、そば 8.2ha（でわかおり）

キャベツ（加工用）60a、ユーカリ露地 25a、ユーカリハウス 1120坪、タラの芽 35a



Q4.一年間の作業の流れと冬期間の対応

- 1月 タラの芽収穫、ユーカリ収穫（ハウス）
- 2月 タラの芽収穫、ユーカリ収穫（ハウス）
- 3月 水稻育苗の準備、タラの芽収穫、ユーカリ収穫（ハウス）
- 4月 水稻育苗、タラの芽収穫
- 5月 田植え、枝豆播種
- 6月 水稻管理、枝豆播種、大豆播種、ユーカリ定植
- 7月 水稻管理、枝豆収穫、キャベツ種まき
- 8月 水稻管理、枝豆収穫、そば種まき、キャベツ定植
- 9月 稲刈、枝豆収穫
- 10月 稲刈、そば収穫、キャベツ収穫、ユーカリ収穫
- 11月 大豆収穫、キャベツ収穫、タラの芽穂木収穫、ユーカリ収穫（露地）
- 12月 タラの芽促成栽培、ユーカリ収穫（ハウス）

年間を通じて繁忙期とそうでない時はあるが、やることは多いです。



Q5.所有している機械と設備についてお聞きします

トラクター4台、田植え機（8条）2台、
コンバイン（6条）2台
肥料散布機1台、乗用管理機1台、ハイクリブーム1台、
播種機1台、畦塗機2台
除雪ロータリー1台、管理機1台、パイプハウス10棟、
格納ハウス2棟
軽トラック4台、軽ワゴン1台
近くにJAの白鷹カントリーエレベーターがあり、ここに米の
乾燥、調整作業を委託しています。



Q6.仕事で苦労していることなどは？

- ・ 毎年のように起きる異常気象（高温、干ばつ、大雨等）により、栽培している作物の生育、収量、品質に大きな影響がでることです。
- ・ 肥料・農薬等の生産資材や、軽油・ガソリン等の燃料の高騰です。
- ・ 中山間地域のため、圃場の畦畔や法面が大きく、管理作業が大変です。
- ・ ユーカリは、生産者が少ないため、試行錯誤しながら栽培を行っています。

↑今日のあたりまえが、未来へもつながる

Q7.今後の計画や目標をお聞かせください



↑アグリ事務所前

地域の農地を法人が継続して耕作していきたいと考えています。

そのために、人材を募集しています。（正社員）
4月～10月の繁忙期は休みが少なく、11月～3月は、休みが多いです。

1年間の変型労働時間制です。

“一緒に西田尻を耕しましょう！”



まとめ

一年を通していろいろな作物を生産することによって、仕事を切れ目なく回し、工夫をしていることは考えられているなと思いました。また、田んぼの育成管理に衛星の写真データを見るなど新しい技術も取り入れていることに感心しました。

耕作放棄地をなくすためにも地域の農業法人にがんばってもらいたいと思いました。気象状況に影響を受ける大変な仕事ではありますが、若い方や女性の従業員が増えるといいですね。